

(様式9)

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 盛岡玉山地域福祉事業所 みんなのおうち玉山

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		・改修工事により壁が取り除かれ広いスペースが確保されている。	・中庭があり外遊びが出来るが、中庭の外に出ないように注意する必要がある。
	2 職員の配置数は適切であるか	3	4	・子ども一人に職員が一人つかなければならない時は、もう少し職員がいればと思う。・基準配置人数的には適切だが、十分な支援を提供するには足りな	・今の職員でも十分な支援が出来るよう、職員ひとり一人のスキルアップを図っていきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	・入口の上りが階段になっている。	・改修前は、30cmあり危険だったため一段増やした。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		・毎日の始業前・終了時にミーティングを行い、その日の様子、それを踏まえての今後の対応を話し合っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	5		・今回初めての評価になるが、今後も継続して取り組み改善に努めていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	5		・紙面により公表していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4		・艇的に監査を受け、改善すべきところは速やかに改善していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	・できるだけ参加する。	・研修の機会を増やし多くの職員が研修を受けられるよう工夫していく。
適切	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	3		・定期的にモニタリングなどで最新の情報を得たうえで、計画を立てていく。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5		・使用している。職員への周知をしていく。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	4		・全員でアイデアを出し合って進めていく。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3		・児童の成長に合わせて随時見直していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	2		・利用児童ひとり一人の成長に合わせて課題を決めて支援している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標	
な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・利用児童の成長に合わせて計画を作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1		・始業前のミーティングで確認していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1		・支援後のミーティングで職員間で振り返りをし、次の支援に繋げていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2		・日誌や体調・当日の様子を記録をとりその後の支援に繋げている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		・定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	4		・ガイドラインの理解を深めていく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2	7		・相談支援事業所のサービス担当者会議が開かれていない
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	3		・学校への迎え時や電話等で情報交換を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	7		・今のところ対象児童はいないが、今後に向けて検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	6		・今後取り組んでいく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5		・利用児童の成長に伴って必要な施設を検討していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		・研修等に積極的に参加していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	7		・今のところ出来ていないが、今後状況を見ながら取り組んでいく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0		・日々の送迎や迎え時に様子を聞いたり、デイでの様子を伝えながら理解している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	6		・今後、専門的なアドバイスが出来るよう、研修等に参加し育成を行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容及び改善目標	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	3		・保護者の話を聞き、ここで出来ることは速やかに対応し、必要に応じて他機関の紹介等を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	7		・今後取り組んでいく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	4		・苦情解決担当者を中心に苦情に対して真摯に向き合い、利用児童や保護者に対し速やかに対応し、報告する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	5		・今後は、お便り等で情報を発信していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	2		・個人情報管理を徹底していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	1	・利用児童には、マカトンサインを使用している。・保護者との会話を多くしている。	・保護者との会話の中から独自のサインなどを聞き、ケアに活かしていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4		・今後取り組んでいく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		・今後取り組んでいく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	6		・今後取り組んでいく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	4		・今後取り組んでいく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	3		・保護者へは、モニタリング時に伝えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		・今のところ該当する利用児童はいない
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	1	・ヒヤリ・ハットの判断が難しい。	・過去の事例を読み返すなど全員が統一理解が出来るようにする。